

## 教育情報に関する連絡表

【 教育情報提供者記入欄 】		情報提供年月日	平成 29年 11月 24日	
情報提供者等	(フリガナ) 氏 名		性 別	① 男性 ② 女性
	住 所	岐阜県 御嵩市 町・村 (郡名は記入しない。)		
	年 齢	① 20歳代 ② 30歳代 ③ 40歳代 ④ 50歳代 ⑤ 60歳代		
	情報の種類	① 意見 ② 要望 ③ 情報提供 ④ 質問		
	回答の希望	① 教育委員会の回答を希望 ② 教育情報のみで回答は不要		
情報のテーマ	(1テーマにつき、1枚の連絡表をご使用ください。) 教育モニター連絡会議 (恵那特別支援学校 知新祭)			
<p>昨年度に続き、本年度も教育モニターをさせていただき、会議に出席させていただき、ありがとうございます。知新祭も楽しく見学させていただきました。</p> <p>会議では、本年度の課題である地域との連携について色々と考えて意見を述べさせていただきました。皆様の意見を拝聴させていただきましたが、やはり直接教壇に立っておみえになった方々のご意見は我々素人の考えとは違い、直接訴えかける気持ちのこもったご意見であったと感じました。</p> <p>今回の「地域と学校との連携の在り方」というテーマのもと教育現場と地域について考えてみれば、見守り活動など安全に関わる活動、資源回収と言った教育資源に関わる活動、また、各行政や自治体が、子どもを育てる環境施策をどのように考えてみえるのかによっても大きく変わってくるのではないのでしょうか。</p> <p>昨今、他人と同じ行動がとれない子ども、一緒に工作等ができない子どもたちを、子どもの個性ではなく「病気だ。」と区別し、「障害をもっているんだからみんなと違っていてもいいんだ。」と親(自分自身)が安心する、そんな世の中になっていると感じます。</p> <p>地域に目を向けると、他人の子どもだから放っておいて、他人の子どもを叱れない世の中になっているようにも感じます。自分の子どもも叱れない親、自分の子どもを死に至らしめる親、学校の中で仲間を死に至らしめる仲間…、教育にも限界があり、すべてを救えるわけではないとみんなは分かっているにもかかわらずその責任をとらせる場所を考える、そんな世の中になっています。</p> <p>でも、教育ができることもあります。例えば、ゴミを減らす、分別するといったことなど、よいことを教えることで世の中が変わってくるのではないのでしょうか。</p> <p>その反面、子どもたちの純粋な心を汚す大人、いつからかお手本になれない大人が増えてきました。携帯、スマホなどによる情報が氾濫している中で、親が知らない世界を子どもたち同士でつくりあげている、親の感知しないところで子どもの世界がつくられている世の中にもなっています。それでいいのか疑問になります。</p> <p>学校や地域の方、行政等がどれほど子どもたちを見守り育てようとしても、家庭や家族の環境が個人の成長を創り上げる場所であることに間違いはありません。</p> <p>もっと、大人が大人になりきらない限り、どんな話し合いをしても子どもたちを救えない世の中なのではないのでしょうか。まずは家庭から、そして地域ぐるみで子どもを取り巻く大人たちが子どもたちのより良い成長を願い、努力し続けていく必要があると感じました。</p>				